

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【公開番号】特開2008-134637(P2008-134637A)

【公開日】平成20年6月12日(2008.6.12)

【年通号数】公開・登録公報2008-023

【出願番号】特願2007-305829(P2007-305829)

【国際特許分類】

G 03 G 5/05 (2006.01)

【F I】

G 03 G 5/05 104 B

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月13日(2011.1.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

チオホスフェート含有電荷発生層、及び少なくとも1つの電荷輸送層を含む光導電体であって、任意で支持基体を含むこと、及び、前記少なくとも1つの電荷輸送層が、少なくとも1種類の電荷輸送成分、少なくとも1種類の多面体オリゴマーチルセスキオキサン(POSS)含有物質、及びチオホスフェートを含むことを特徴とする該光導電体。

【請求項2】

支持基体を含み、

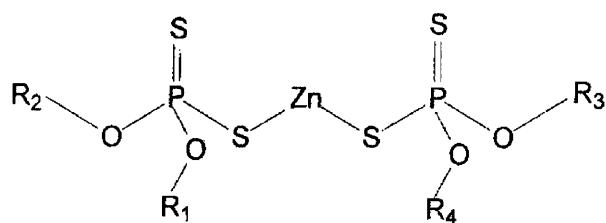
少なくとも1つの電荷輸送層が、チオホスフェート及び少なくとも1種類の多面体オリゴマーチルセスキオキサン(POSS)含有物質を含み、

前記多面体オリゴマーチルセスキオキサン(POSS)が、多面体オリゴマーチルセスキオキサン、多面体オリゴマーチルセスキオキサンアルコール、多面体オリゴマーチルセスキオキサンフェノール、多面体オリゴマーチルセスキオキサンアルコキシラン、多面体オリゴマーチルセスキオキサンアミン、多面体オリゴマーチルセスキオキサンクロロシラン、多面体オリゴマーチルセスキオキサンエポキシド、多面体オリゴマーチルセスキオキサンエステル、フルオロアルキル多面体オリゴマーチルセスキオキサン、多面体オリゴマーチルセスキオキサンハライド、多面体オリゴマーチルセスキオキサンイソシアネート、多面体オリゴマーチルセスキオキサンメタクリレート、多面体オリゴマーチルセスキオキサンアクリレート、多面体オリゴマーチルセスキオキサンニトリル、ノルボルネニル多面体オリゴマーチルセスキオキサン、多面体オリゴマーチルセスキオキサンオレフィン、多面体オリゴマーチルセスキオキサンホスフィン、多面体オリゴマーチルセスキオキサンシラン、多面体オリゴマーチルセスキオキサンシラノール、多面体オリゴマーチルセスキオキサンチオール、及び多面体オリゴマーチルセスキオキサン含有ポリマー、並びにこれらの混合物からなる群より選択され、

前記チオホスフェートが、下記一般式1または2で表される、請求項1に記載の光導電体。

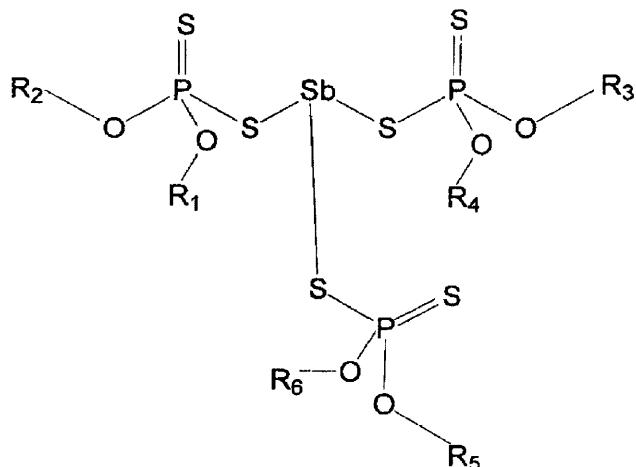
一般式1

【化1】



一般式2

【化2】



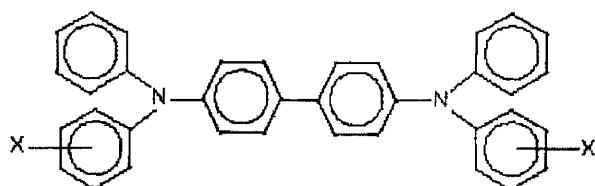
(一般式1及び2中、R<sub>1</sub>、R<sub>2</sub>、R<sub>3</sub>、R<sub>4</sub>、R<sub>5</sub>及びR<sub>6</sub>は、各々独立に、水素原子、アルキル基、シクロアルキル基、アリール基、アルキルアリール基及びアリールアルキル基の少なくとも1つを表す。)

【請求項3】

前記電荷輸送成分がアリールアミン分子を含有し、該アリールアミン分子が下記一般式3または4で表される、請求項1に記載の光導電体。

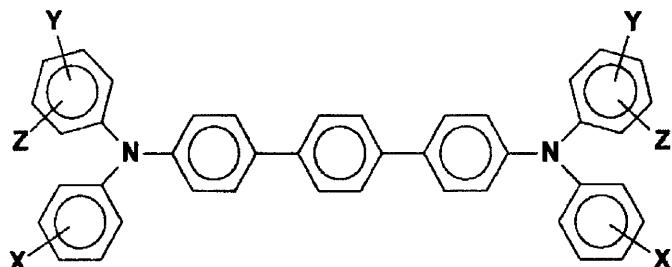
一般式3

【化3】



一般式4

【化4】



(一般式3中、Xはアルキル基、アルコキシ基、アリール基、ハロゲン、またはこれらの混合体を表し、一般式4中、X、Y、Zはそれぞれ独立にアルキル基、アルコキシ基、アリール基、ハロゲン、またはこれらの混合体を表し、XとYのうち少なくとも一方は必ず

存在する。)

【請求項 4】

前記チオホスフェートが、前記電荷輸送層に 0.01 重量パーセント～20 重量パーセントの量、及び前記電荷発生層に 0.1 重量パーセント～40 重量パーセントの量で存在し、前記チオホスフェートが、モリブデンジ(2-エチルヘキシル)ジチオホスフェート、亜鉛ジエチルジチオホスフェート、又はアンチモンジアミルジチオホスフェートである、請求項 1 に記載の光導電体。